

# みあさづくり

## タスカル美麻で 出かけてみよう!

美麻地域づくり会議と美麻支所が連携して小さな拠点で行う移動支援サービスの実証実験を11月29日から開始しました。

会員から自動車をお借りし、運転手と添乗員は地域のボランティアが行い、利用者から燃料代を負担いただく無償運送（免許や許可のいらない運行方法）で、週1～2回運行する予定です。

この日は、千見地区、青具地区から4名の方に参加いただき、フレスポ大町まで買い物に行きました。

買い物や外出に不安や不便のある方から利用していただき、利用の感想や改善点などを聞かせていただき

たいと考えています。「利用してみたい」という方や、「詳しい内容を知りたい」という方には、個別に説明をいたしますので、美麻地域づくり会議事務局（29-2311）まで、お問い合わせください。



QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ  
美麻Wiki



facebook





## 小さな拠点運営法人の説明会を開催



誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目的に、小さな拠点を運営するために設立した「一般社団法人地域づくり美麻」への参加について会員向けの説明会を12月14日（火）に開催しました。当日は20人から参加いただき、運営法人設立までの経過、活動内容、参加方法についての説明を行いました。

本年4月から専門部会を設置し、検討を重ねた結果、小さな拠点運営法人は、一般社団法人（非営利型）として、で美麻地域づくり会議の役員が発起人となって、7月21日に法人登記を完了しました。

当面は、地域づくり会議と並立で、美麻地区の集落機能を維持するために必要な活動やサービスの提供を行うこととしています。

新型コロナの影響から会員募集が遅れておりましたが、賛同いただける皆さんから参加いただき、令和4年1月中に設立総会を開催できるよう準備を進めています。

設立時役員（発起人）は、次のとおりです。

代表理事	前川浩一（会議 会長：大塩）
理事	北沢孝一（〃 副会長：青具）
理事	川澄寛都（〃 副会長：大塩）
監事	小林 稔（〃 監事：二重）

## 先進地視察報告「開田高原有害鳥獣対策」など

広報部会による先進地視察を10月28日に行いました。今回は、有害鳥獣被害対策に重点を置き、8名で木曾町開田高原へ行ってきました。

### ●開田高原サル撃退チーム

自分の畑は自分達で守ることを目的に農家の方を中心に約50名で構成しています。携帯電話の「LINE」を利用して即座に追いかけることができるように情報を共有していてとても良い試みだと思えます。



### ●開田高原アイスクリーム工房

美麻地域づくり会議で販売をしている「花豆あいす」を製造している工房です。開田高原のミルクを使い、地域の素材にこだわった商品をつくっていました。



### ●せせらぎの四季（とき）

建設業関係の会社で設立した温泉施設です。灯油ボイラーとまき焚きボイラーを併用し、燃料には廃材を利用してコストを抑え、従業員は定年後の再雇用を行っています。美麻でも今回の視察が小さな拠点形成に向けて参考になればと思います。（大塩 高木千枝）





# 小さな拠点運営法人の会員を募集します。

美麻地域づくり会議では、来年から「誰もが自分らしく暮らし続けられる美麻地区」をつくる活動を始める「**小さな拠点**」を運営する「**一般社団法人地域づくり美麻**」の運営に参加いただける会員を募集します。

同封の参加申込書に必要事項を記入の上、美麻地域づくり会議事務局までお申込みください。

不明な点がありましたら、事務局（29-2311）までご連絡いただければ詳しく説明にさせていただきます。

【募集する会員の区分】

○運営会員

法人運営、事業の企画・実施に積極的に参加いただける方（個人・団体、法人）。

【会費】 5,000円/年額

【議決権】 あり

○賛助会員

運営には参加できないが、活動を応援していただける方（個人・団体、法人）。

【会費】 5,000円/年額（一口以上から）

【議決権】 なし

「誰もが自分らしく暮らし続けられる美麻地区を作る」取り組みです。



美麻地域づくり会議では、地域の皆さんのボランティア活動を通じて、「地域活性化」の取り組みを実施します。

小さな拠点では、ボランティア活動に加え事業活動を通じて、「仕事を作り」、地域の産業振興を図ることや、「日常生活に必要なサービス」等を提供します。

※ 将来的には地域づくり会議で実施している事業の多くを小さな拠点で実施できるようにしていく予定です。



地域の話題

## 成長を感じる保育参観

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も例年に比べ短縮の形で行われた保育参観でしたが、子供たちは、大きいお口で思いっきりお歌を歌い、リズムを聞いてお友達と気持ちを合わせて楽器を演奏したり楽しそうでした。また、「おむすびころりん」の劇では役になりきって大人顔負けの演技をして一生懸命なかわいい姿を見せてくれました。参観の時間は短かったけれど、その中で園児の元気な笑顔と歌声がステージのうえでキラキラと輝き一人一人の成長を感じることができ素晴らしい発表参観でした。

みあさ保育園保護者会 重田あまな



発表参観の劇「おむすびころりん」

## 焼きいも、おいしい～♪



パンダ&コアラクラブのお友だちといっしょに「焼きいも会」をしました。

10月28日は朝早くから支所の和田さん、公

民館長の細井さん、田中さんがおきづくりをしてくださいました。テラスで、ぬらした紙とアルミホイルをおいもに巻きました。いろいろな形をしていて大変だったけど、ていねいに巻きました。おきの前に行くと、顔が熱くてやけどしそうですがおいもを投げ入れ、「おいしく焼けますように♡」とお願いしました。

焼きいもができるまで安曇野市の吉沢先生による「お布団シアター」を鑑賞しました。どのお話もとても楽しく、みんなでいっしょに歌ったり、踊ったりしました。お布団みたいに大きい「お布団シアター」はみんな大好きで、毎年楽しみにしている子どもたちです。

おやつはもちろん焼きいもです、甘くて、ホクホクで、皮までペロリと食べました。

貴重で、おいしい体験をさせていただき、ありがとうございました。（園長 北村幸）

## 住民参加型訓練を実施

「災害は何時起こるかわからない」こうした災害の教訓を踏まえ、“いざ”という時の実践的な訓練を、11月14日（日）秋季全国火災予防運動に併せて美麻支所及び美麻公民館周辺で行いました。新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小して実施し、地区の役員や代表者約20人が参加をしました。避難訓練や救護の他、消火器や消火栓を使った消火訓練を体験して、自分たちでできる備えを学びました。

美麻支所で行われた訓練では、消防団員が

参加者と一緒に救護訓練や自治会ごとのハザードマップにより危険箇所を再確認しました。これからも関係団体と地域住民が連携を図りながら防災意識を高め災害時に備えたいと思います。（消防団第六分団・自主防災会）





コミュニティ・スクールの話題

## 焼いも会いも係リーダー（1年生）



ホップ期と来入見による焼いも会に向けて、1年生はいも係のリーダーとして頑張りました。ま

ず、2年生に協力をお願いして、落ち葉集めをしました。仲良し班ごとに大きなビニール袋に落ち葉を詰めて40分ほどで8袋もの落ち葉を集めることができました。

次はいもほりです。少し硬くなった土に苦戦しながら、移植ごてで2年生とどんどん掘っていき、後片付けもしっかりできました。この後、サツマイモの蔓でリースを作りました。蔓をまとめるのはとても大変でしたが上手にできました。

薪作りもしました。学校の廃材を集めて、のこぎりで木を短く切りました。誰かが「今日は2年生、来ないの？」と聞くと、1年生がリーダーだから1年生だけでやるんだよ。」と答えていました。「リーダー」という言葉が、子ども達を動かす原動力になっていることを感じました。（1年担任 松澤 享）

## 「喜ばせたい」「楽しませたい」の気持ちで ~連学年学習~（2年生）

美麻小中学校の1年生と2年生は、とても仲良しです。教室もお隣で、休み時間にもよく一緒に遊んでいます。生活科で遊びの場を作ったり、図工で作品を作ったりするときなども、

「だれに見てほしいかな？」  
「だれを招待したいかな？」と問うと、お互いを誘い合っている子どもたちです。

2年生は先日、木の実で遊ぶおもちゃをたくさん作って、「秋ランド」を開き、1年生を



招待しました。その翌週、1年生は粘土で作ったごちそうやレクを用意して「ごちそうパーティー」を開き、2年生を誘いました。一人一人の個性とアイデアが弾ける、様々なコーナーが広がり、みんなで「あ〜、たのしかった！」と温かいひとときを過ごしています。

（文責：2年担任 西澤沙織）

## 「3Rを心がけたい」ゴミ処理場見学

4年生は11月12日に、ゴミ処理場へ見学に行きました。自分たちが出したゴミは、どのように処理されているのかを自分の目と耳で確かめてきました。

北アルプスエコパークでは、燃えるゴミについて学習しました。大町リサイクルパークでは、資源ゴミについて聞きました。ペットボトルは、現在ユニフォームなどの繊維に再利用しているが、サントリー工場ができたので、これからはすべてペットボトルに再利用することが決まっているそうです。

最後にリデュース(Reduce/ゴミを減らす)、

リユース(Reuse/くりかえし使う)、リサイクル(Recycle/再利用する)の3つを進めていく3Rの取組を知りました。多くの人々のおかげで、自分たちが出したゴミを工夫しながら処理していることが分かってきました。

（4年生担任：野本和幸）



大きなゴミを破砕機で細かくしています



コミュニティ・スクールの話題

# 職人さんから伝統の技を学ぶ!



わらの編み方も  
教えてもらいま  
した! ←

かやぶきの技を  
体験! 真剣に聞  
き入ります。 ←

水車小屋で、かやのかけ方と、わらの屋根に  
かけるものの作り方を、12月3日に教えても  
らいました。かやをかけるときは、しっかりと  
おすことが大事です。ギュッとおすと、すき  
まがなくなって、雨もりもしにくくなり丈夫な  
屋根になります。3年生と職人のしぼり方は、  
ものすごくちがって、そのむすび方でむすめば  
組んだ棒の上にもおれませんでした。

1時間ぐらいかけて小さな小屋ができました。  
小屋の屋根はさいしょ、平ではないので道具で  
下から上にたたいて平らにしたあと、大きなは  
さみできってそろえました。わらの屋根の作り  
方も教わりました。すこしむずかしかったけど、  
このやり方でやれば3年生の小屋づくりにつな  
げられそうです。(3年生 田中大智)

## 楽しかった東京見学



5・6年生で11月2日  
に東京見学へ行ってきました。  
新幹線に乗ったり、都  
内を電車と徒歩で移動したり、  
皆で協力して行動でき  
ました。3カ所の見学場所  
でもたくさんの学びがあり  
ました。楽しかったり学ん  
だことはたくさんあります。  
新幹線は2回目だったけど、  
乗る前はドキドキしました。国立科学博物館で

乗る前はドキドキしました。国立科学博物館で

は、たくさんの動物  
がはくせいになって  
いて、本物の大きさ  
や細かい動物のとく  
ちょうを知ることが



できました。図鑑でしか見たことのないラクダ  
の大きさがシロクマより大きかったりして、た  
くさんの発見がありました。国会議事堂は社会  
で勉強していたけど、実際の国会の広さを知る  
ことができたし、疑問に思っていたことをたく  
さん聞いてよかったです。また、東京の町並み  
を見てすごい数の家だなと思いました。

6年生 阿久津 昭太

## ハッピーハロウィン♪ (なしの木・白樺合同)

なしの木と白樺2組合同の英語の授業で、10  
月29日にハロウィンを行いました。おばけや  
コウモリなどのハロウィンの衣装をして8カ所  
の教室をまわり、各教室の先生が出す英語の質  
問に一人一人答えました。「What's your na  
me?」「What OO do you like?」などの質問  
に、自分の名前や好きなことを英語でしっかり  
答えることができました。目標達成で全員お菓

子をもらうことができ、ハロウィン大成功!!  
楽しく英会話に親しめる機会となりました。





.....  
 コミュニティ・スクールの話題  
 .....

## 命をいただいて生かされています (7年生)



秋の味覚を味わいました。火曜日には前川さんの持ってきてくださったイワナを家庭科の授業でさばいて、いただきました。つい前日まで生きていたイキのいいイワナでした。中には卵を抱えていたイワナもありました。そしておいしく調理しました。私たちは命をいただいて生かされているということを実感しました。

## ◎活動のアイデア広がる！市民科まとめの会 (8年生)

市民科まとめの会が10月29日にありました。各学年の活動を知り、意見をかわすとても刺激的な時間になりました。

8年生は『みあさひろばづくり隊！』をテーマに、4つのグループに分かれて活動してきました。空き家や美遊など、今美麻にある場を、自分たちのアイデアを活かしてよりよくバージョンアップしたり活用する方法を考えたりして、地域の皆さんが集う場・地域の皆さんに還元できるような場をつくりたいと考えています。

まとめの会では、4～9年生や地域の皆さんからたくさんのアイデアや質問をいただきました。ぜひ来年度の活動につなげていきたいです。(文責：8年生担任 村田茜)



美遊ゲーム



空き家ゲーム

## 11月11日11人で紡いだ旅路

ある子がこんなことを言っていた。「修学旅行行くまでは、なんで修学旅行なんて行くんだろうと思っていた。けど、最初の富岡製糸場に着いて、その考えは変わった。旅行とは、どこに行くのではなく、誰といくかが大事なんだと思った・・・」

修学旅行は夢のような時間だったと語ってくれた人もいた。

どうしてこんな時間をつむぐことができたのか。その問いに答えは知らない。

ただ、本当に楽しい時間が過ごせた。その事実のみが大切なんだと思う。

修学旅行。幸太くんは、旅行中、「修学」の意味を私に聞いた。私は、あの2日間のす

べての体験が、すべて心の中にぎゅーっとしみ込んでいく。それこそが究極の学びなんだと信じてやまない。

(文責 9年生担任 平林隆昭)





.....  
 コミュニティ・スクールのお話  
 .....

## 花MAME株式会社

### 大町市「ぼくらの市民活動フォーラム」で発表



#### 大町に広がる花MAME株式会社

市民活動が活発になり、いきいきとした元気なまちになる事を目指して市民活動フォーラムが12月4日（土）に大町市文化会館で行われ、花MAME株式会社（9年生）の代表取締役をはじめとした社員3名が参加し、活動内容を発表しました。

5分間の発表の後、質疑応答がありました。牛越市長や、県外から見えられた花豆に関心の



ある方や、美麻在住の意欲満タンの方からの質問に、堂々と自分たちの思いを語る姿がありました。また展示ブースでは、花豆を育てたい農家さんが、社員に直接質問する姿もありました。

阿久津幸太社長（15）は、「我々の活動を美麻以外の方々にも知ってもらえたことは大きな成果だと感じます。」と語りました。これからも花MAME株式会社へのご協力、よろしくお願いします。

（文責9年生担任 平林隆昭）

## 美麻小中学校PTA講演会を開催

「コミュニケーショントラブルの背景を考える」と題して、大町市子育て支援課の神谷哲彦先生をお招きし、PTA講演会を11月19日に開催しました。

美麻小中学校に今必要なテーマはなにか総務委員会で話し合いを行い講演会では子どもたちがコミュニケーションに失敗した時に役立つ子育てのお話をお願いできないかと、相談させていただき今回のテーマを決めました。当日は約50名の出席者があり講演会では、トラブルの背景にある自尊感情についてのわかりやすい内容で、あっという間の1時間半となりました。

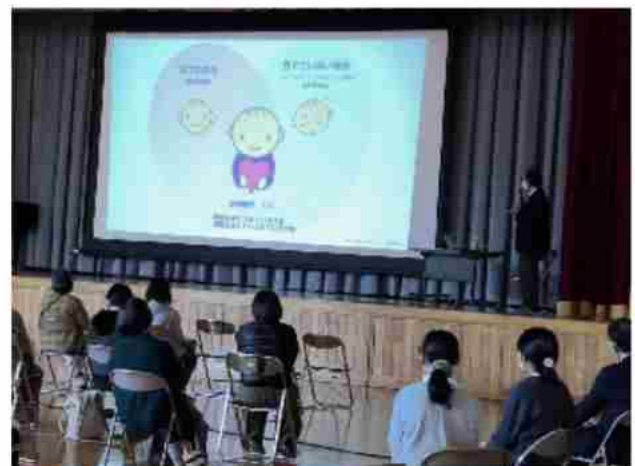
#### ◇参加者の感想

- ・わかりやすく、日常に取り入れたい声掛けをたくさん聞いた。
- ・子どもの行動、トラブルには理由がある。その背景を見てあげなければ。

・日頃から、きちんと言葉で発信することが、子供からの発信につながる。

・大人も自尊心を持って子育てをしたい。など、総務委員会に感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。

（総務委員長 鈴木 幸）





## 「北アルプス国際芸術祭」 閉幕

美麻地区でも二人のアーティストによる作品が制作され、10/2(土)~11/21(日)に開催をされた「北アルプス国際芸術祭」が無事に会期を終了することができました。

期間中は、美麻地区では10名を超える皆さんからボランティアとして運営に協力をいただき大変ありがとうございました。

- \*芸術祭全体来場者数 33,884人  
(健康チェックシート記入者)
- \*美麻アート来場者  
29 持田敦子(旧教員住宅) 5,948人  
30 青島左門(二重ゲートボール場) 6,242人  
(美麻支所)

### 北アルプス国際芸術祭を鑑賞して

美麻地区社会福祉協議会では、美麻地区身体障がい者福祉協会と共催し10月23日(土)また、10月24日(日)と11月13日(土)に、日頃一人でお出かけすることが困難な高齢者の皆さんを対象として33人の方にご参加いただき見学会を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中でしたが、参加者の皆さんにもご協力いただき、感染予防にも十分配慮し安全に開催することが出来ました。13~15ヶ所のアート作品を見学し日頃、鑑賞する機会の少ない「現代アート」に触れ感動されていました。

参加者の皆さんからは、「久しぶりにお出かけが出来て楽しかった」とか何を表現しているのか良く理



解できない作品もあり、「芸術って難しいね?」などと言った感想も聞かれました。3回とも秋晴れに恵まれ、楽しい芸術の秋のひと時を過ごすことができました。(美麻地区社会福祉協議会)

### 芸術に触れてきました

美麻小中学校5と親、担任と11月2日に親子レクリエーションをしました。目的は北アルプス国際芸術祭です。住んでいる町を舞台に芸術家達は何を感じさせてくれるのか?本人達の作品も並んだ麻倉美術部ひみつの森では自然からの恩恵を形にした世界観に引き込まれ、北高では子どもは体験型アートに触れ、親は普段足を



踏み入れない場所への思いを楽しみました。木崎湖では作家の自由さに感化され、アートを通し温かな交流ができました。

(大塩 田澤まい)



### 北アルプス探水隊&国際芸術祭



水に関わる謎解きをしながら大町市街地をめぐりました。大町市には豊富な水源が多くあるので、この「水」を守るためのプロジェクトの一環なのだそうです。私たちの考えているTreasure Hunt in Miasaの参考にできるこ

とはないか考えながら、楽しく市街地を歩きました。謎解きが完成して、宝箱が見つかった時は歓声が上がりました。景品の味も格別でした。また、芸術祭の作品も見ることができ芸術の秋を満喫してきました。(7年生担任:宮下映美)





# 信濃大町ワーキングホリデー

## ワーキングホリデー事業受入報告②



有害鳥獣駆除を体験

今年度から、地域活性化を目的とした新規事業として、「信濃大町ワーキングホリデー（ふるさとワーキングホリデー：総務省）事業」に取り組んでいます。前回の通信での報告に続き、お2人を受入れました。

まずは11月8日から15日までの期間で、山梨県から参加の赤池さんは、薪割り作業・萱刈り・有害鳥獣駆除や鹿の解体などを体験し、ぽかぽかランド美麻でも就労しました。

赤池さんは、地域に根ざした取り組みを体験し地域内に滞在したことで、皆さんの優しさに触れられ美麻の住民になったような感覚で過ごすことができ、美麻のことが大好きになったと、嬉しい感想をいただきました。

次に、11月23日から12月7日まで、東京都から参加の渡辺さんを受入れました。渡辺さんは2週間の滞在中、カフェ「花まめや」での就労をはじめ、水車小屋の茅葺屋根の修繕・移動支援サービスやフリースクールの補助・薪割りや鹿の解体など様々な活動に携わっていただきました。渡辺さんにはSNSで活動も含め美麻の魅力を発信いただきましたので、詳しくは美麻Wiki（facebook）を是非ご覧ください。美麻地域づくり会議をはじめ、地域内の大勢の皆さんから受入れを協力いただきありがとうございました。今後も、

随時ご相談させていただきますので、ご協力をお願いいたします。（美麻支所）



茅葺屋根のふき替えを体験



↑ 活動の様子は、facebook 美麻Wikiでご覧いただけます。



あなた、他31人

いいね! コメントする シェア

美麻Wiki (大町市美麻地区)

12月7日 16:04

こんにちは! #ワーホリ美麻 の渡辺です

私がつっても感動した景色と共にお読みください

今新幹線の中から、書いています。そう、実は今日で2週間! 美麻とお別れの日でした。あっという間でした、寂しい

はじめての1人暮らしということもあり、慣れない環境の中で大変なこともありましたが、美麻支所のみなさんをはじめ、体験を受け入れてくださった方、地域のみなさんの手厚すぎるサポートのおかげで、とっっても楽しく過ごすことができました

そして、多くのことを勉強させていただきました。美麻に来て本当によかったです!

ありがとうございます!

また帰って来たいなという場所が出来たこと、会いたいなと思う人がたくさん出来たこと、本当に幸せです。

そして、美麻以外の方へ普通のワーホリは嫌! 何かに挑戦したい! 地域のことに興味がある!

という方は今すぐこちらをどうぞ!

<https://furusato-work.jp/worklist/works-22691/>

もし迷っている方がいたらぜひ挑戦してみてください。

ここでしか経験できないこと、得られないものがたくさんあると思います。美麻はそういう場所です!

あと、スキーウェア持ってくると最高だと思います笑。

ソフトバンクユーザーの方へ電波が繋がらないこともあります。でも大丈夫です。きっと。

それでは、また暖かくなったら遊びに来ます!

お元気で

#寒いけどあったかい場所

#国内ワーホリ



あなた、他46人

コメント2件

いいね! コメントする シェア

美麻Wiki (大町市美麻地区)



大野民謡の里づくり委員会

連載 美麻の口碑伝説 十

～語り継ぐ郷土の心～

## 切明庄屋

昔、大塩 (今回は、大塩の話)

の東南に「切明新田村」があり庄屋がおった。なかなか滑稽な人物だったが、人一倍気づかいがあり、松本藩の役人から村の衆をかばってやった。ある不作の年、年貢を納められない庄屋衆が奉行所に呼び出され、「隠し米はならぬ。もしわかったら打ち首だぞ。」と言ひ渡し、切明庄屋「ははあー。承知いたしました」と大声で言った。役人は「切明庄屋たかごえ(高声)ならぬ。」としかられた。その後役人が村へきてしらみつぶしに調べたが隠し米は見つからなかった。「切明庄屋、なぜ積み肥を低く崩したか。」「へえ、お奉行様にたかごえ(高肥)ならぬと叱られたので」と、

しかし、崩した肥えの下に冬越えの食い物かくしてあった。

またある時、巡回に来た役人に一献差し上げることになり、村の衆に「おれの真似さえていければ仕損じない」とよく言い聞かせた。ところが、酒も回ってきたころ、里芋の煮物が出てきた。庄屋は芋を取ろうとして取り損ない、芋を這って追いかけて畳の真ん中まで出てしまった。すると、村の衆も芋をわざと落とし、座敷中這いまわったと。

役人は、こんなアホたればかりの村にいたら頭がおかしくなるという、早々に引き上げた。

庄屋のとんちは、まだまだあり、役人を追い返したそうだ。今回はこのへん……



切明庄屋跡  
(切明新田)

大塩南村から見た風景



## メンドシーノ交流事業について

メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会では、昨年来新型コロナウイルスの影響で中断している相互訪問交流の再開に向けた検討を重ねています。

来年度の訪問事業を実施できる場合の条件についてアンケートを通じて保護者やメンドシーノ側の意向を伺いながら検討しています。

今年度の事業では、ビデオレターの送付や、Zoomを使ったオンラインでの交流を実施できるよう準備を進めています。



## 年末の交通安全運動実施中

スローガン「信濃路はみんなの笑顔つなぐ道」を掲げて、年末の交通安全運動が12月15日（水）～12月31日（金）の期間で実施されています。

年末を迎えて、夕暮れから夜間の事故や飲酒運転等が増えることから3点を重点として行っています。

- ① 夕暮れ時、夜間の歩行者事故とスリップ事故の防止
- ② 高齢運転手の交通事故防止
- ③ 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

普段から慣れた道でもしっかりと安全確認して「かもしれない運転」を心がけましょう。

（大町地区交通安全協会美麻支部）

## つながれ地域のお店 ⑪ - アトリエふうこ -

“毎日のように作っています”

「定年後、趣味でやっていたことが今では置き場に困っています」と話すのは、千見境の宮の傘木文子さんです。

令和元年1月に教室に通いだし「クラフトバンド」と「つて筆」に夢中になりました。今は100色以上ある「クラフトバンド」を使って買い物かごや置物を作っています。また、「つて筆」で描く「ことはな書」は色紙に柔らかな色で書き上げ額をつけて飾ることができ、今年の8月に認定を受けて書作家となりました。クラフトバンドはほかほかランド美麻で展示販売をしていますので是非ご覧ください。今後の夢はアトリエを作って製作を続けて行きたいと考えています。



\*クラフトバンド

米紙袋の縛り口ひもが原型で、PPバンドとしてプラスチック製もあります。

\*つて筆 文字を崩しユニークで温か描く文字

\*ことはな書

その方の「役割、使命、幸せになって行くための事」に注目して「つて筆」を使って描くポエム

お問合せ アトリエふうこ 傘木文子  
千見境の宮25794-1  
電話 29-2055

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info